

八尾市文化会館「プリズムホール」開館30周年記念誌の発行にあたり

八尾市文化会館「プリズムホール」では、長年にわたり幅広いジャンルで活躍する芸術文化団体と連携し、質の高い公演を提供するとともに、河内音頭や高安地域ゆかりの能などの八尾の伝統文化を次世代に継承する地域に根ざした取り組みを幅広く展開するなど、本市の芸術文化活動の拠点として、地域の活力を最大限に引き出してまいりました。

このような中、平成29年度にはマネージメント力で活力あるホールとして、地域創造大賞(総務大臣賞)を受賞するなど、多くの皆様にご利用いただくとともに、芸術文化の魅力を存分にご堪能いただいております。皆様から愛され、親しまれる施設として成長してきた30年間の歩みを誠に感慨深く思うところであります。

さて、当ホールは、令和3年度に施設の安全対策及び老朽化対策を目的に改修工事に着手してまいります。今後も、多くの方々に身近な地域で芸術文化に触れていただく機会の創出に努め、芸術文化のあふれるまちづくりを市民の皆様とともに進めてまいりますので、引き続き、本市芸術文化の振興にご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



八尾市長 大松 桂右

開館30周年を迎えまして

八尾市の芸術文化の発信拠点として開館した八尾市文化会館「プリズムホール」は、昨年度、開館30周年を迎えました。これもひとえに皆様方の多大なるご支援ご厚誼の賜物と心より感謝申し上げます。

長年にわたり、プリズムホールは管理運営を担う事業団とともに、市民・関係者の皆様のご支援をいただきながら、大きく成長してまいりました。特にこの近年は、指定管理者制度、公益法人改革など大きなハードルに直面しましたが、それを乗り越えることでさらに力をつけてまいりました。その成果として、平成29年度地域創造大賞(総務大臣賞)を受賞いたしました。

芸術文化の振興は「それを行う」、「それを見る」、「それを支える」の3つの要素がそろうことが大切ですが、皆様の積極的なお力添えがあったお蔭であります。誠にありがとうございます。プリズムホールが今後、さらに輝きを放ちますよう、事業団職員一同全力を傾注してまいります。プリズムホールの運営に自信と喜びと誇りをもって、市民の皆様とともに一步一步、確実に八尾に文化の足取りを刻み続けていきたいと思っております。今後も皆様の温かい眼差しをプリズムホールならびに当事業団に注ぎ続けていただきますよう、切にお願い申し上げます。



公益財団法人八尾市文化振興事業団 理事長 原 正憲

昭和63年(1988年)11月10日に八尾市の芸術文化の拠点としてプリズムホールは誕生しました。開館当初から財団法人八尾市文化振興事業団(平成23年度より公益財団法人八尾市文化振興事業団)が運営を担い、施設の管理や地域に根差した主催事業を実施してきました。プリズムホールは、八尾市と事業団のパートナーシップのもと、以下の基本理念に沿って運営を行っています。

プリズムホールの30年間のあゆみは次ページでご紹介!

プリズムホールの基本理念

「芸術文化との関わりの中で、市民の心豊かな暮らしを創造するプリズムホール」
～心豊かな笑顔あふれる居場所を目指して～

プリズムホールの位置づけや方向性を受けて、事業団としてホールの果たすべきミッションを定めました。

プリズムホールのミッション

「あなたの人生がかがやく場所 プリズムホール」

<プリズムホールが目指すこと>

芸術文化との関わりによって、その人の人生を輝かせること!

プリズムホールに来れば豊かな気持ちを取り戻し、明日も元気に生きていこうと思える、生きる意欲を生み出す場所となること!

「芸術文化」の力や価値は実に多様です。人の心を豊かにし、交流が生まれ孤独から解放し、自信を生み、まちを好きになり、誇りに思う...など。芸術文化によって人はかがやき、まちは活性化することを私たちは実感しています。芸術文化の価値を信じ、人々との接点をつくり、普及することでその人の人生がかがやかさめます。

事業の実施方針「7つの事業の組み立て」

芸術文化とのかかわり方を多様に用意します。八尾市で唯一の拠点施設であるために、ジャンルは絞ることなく全方位的にし、市民や地域に密着した中で、「7つの事業の組み立て」を用意し、さまざまな手法で出会いを創出します。

